

令和2年7月10日 ～ 11日の梅雨前線による降雨における 芹川ダム洪水調節の効果について

令和2年7月11日

【速報推計】

梅雨前線の接近に伴い、10日13時から雨が降り始め11日6時までに累計100mmの降雨があり、6時7分には洪水量150m³/sに達したため洪水調節を開始しました。

その後も流入量は増加し、11日7時50分には最大流入量の557m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量は277.5m³/sであり、ダムに流れ込んだ水量の約50%にあたる、279.5m³/sをダムに貯めました。

その後、降雨及び流入量は次第に減少し、11日10時2分に洪水調節を終了し、12時5分には洪水量の150m³/sに低下しました。

総雨量は、185mm(10日13時～11日13時)で、時間最大雨量は、48mm(11日6時)でした。

今回の洪水調節により、下流河川(同尻橋地点)において、河川水位を約0.3m低減させたと推測しています。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

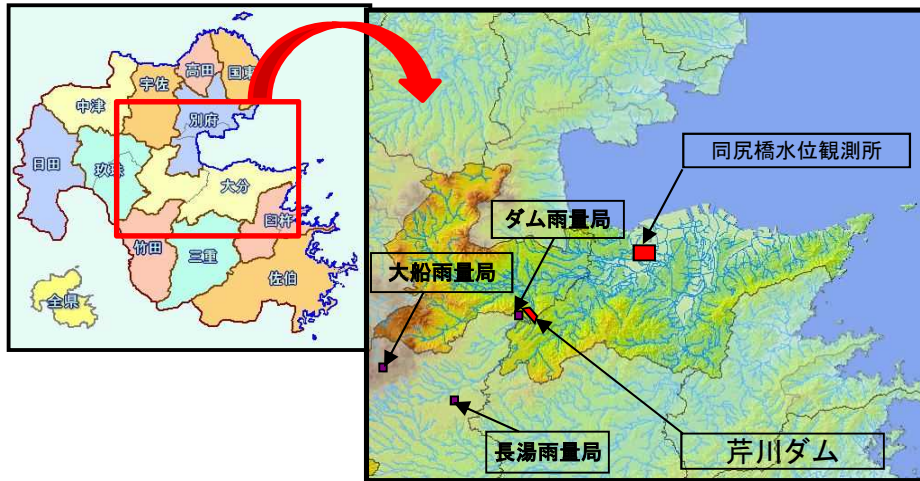
電話 (097)506-4595(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 芹川ダム管理支所

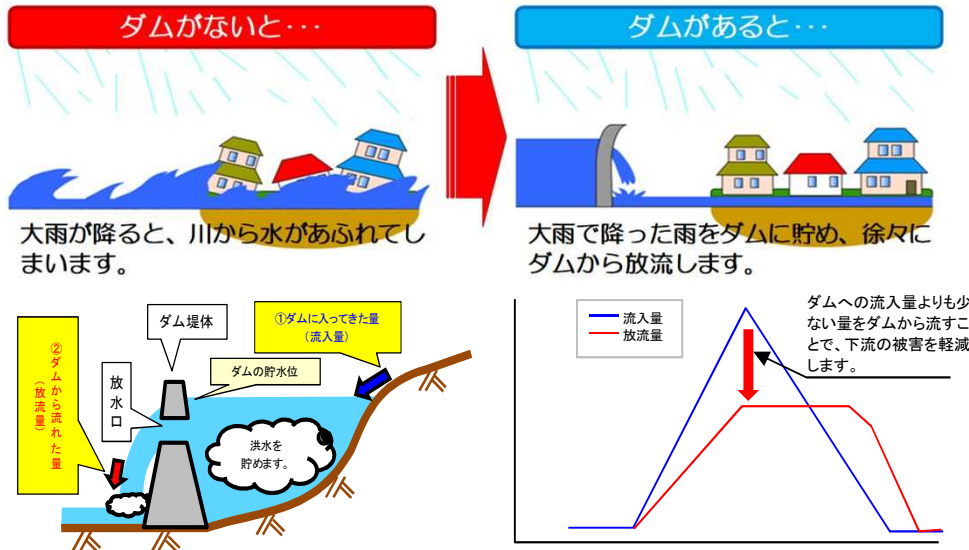
電話 (097)597-6890

令和2年7月10日 ~ 11日の梅雨前線による降雨における 芹川ダム洪水調節の効果について

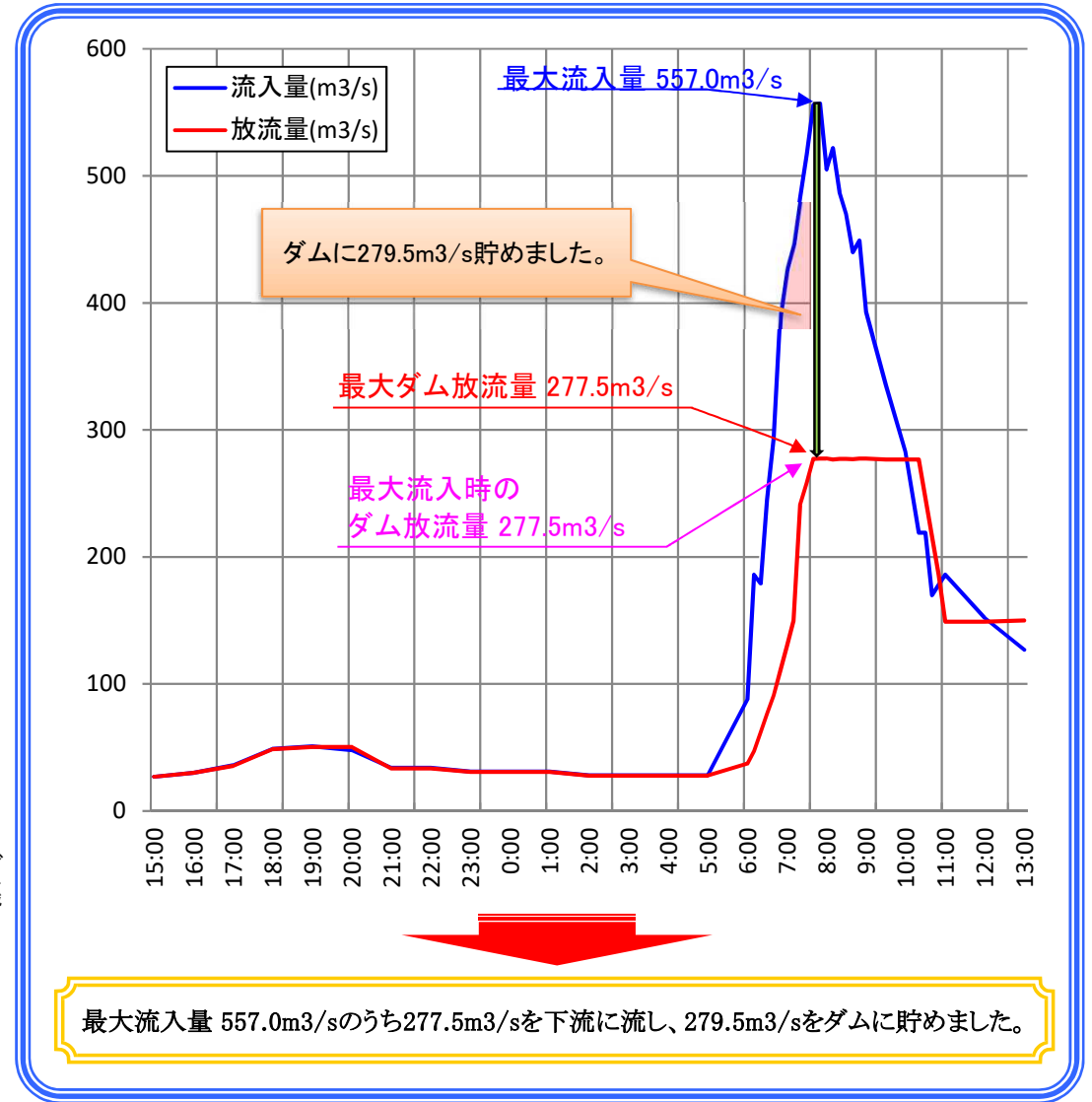
【芹川ダム位置図】



【ダムの治水効果】



【防災操作実績図 (速報値)】



令和2年7月10日 ~ 11日の梅雨前線による降雨における 芹川ダム洪水調節の効果について

【 由布市挾間町鬼崎 同尻橋地点の河川水位比較 】

